

あーら

MINI (3号)

1977年3月発行 ¥150 円60

今月のなかみ

〈随想〉 電車の中の母と子 青木やよひ	1
〈快談・怪談〉 スタylistはなぜ死んだか	2
〈集会から〉 政府の国内行動計画に不満を表明する集会ほか	6
〈これから・その後〉 終わっていない三十歳闘争	7
〈資料〉 国内行動計画・その問題点	8
〈読む〉 土と女・「面白さ」の哲学・おんなの事典	10
〈聞く〉 底辺が広い米国女性の解放運動 河野貴代美	10
〈あーらメイト〉 北村三和子さん	11
〈実務シリーズ〉 やさしい編集3 セガわともこ	12
〈切抜きから〉 七七年二月八日・三月七日	13
〈女のつどい・女の講座〉 三月十六日・四月二十六日	16
〈お知らせ〉 各地の「あーら」の例会	16

〈あーら〉は会員の拠出した基金と年会費および雑誌〈あーら〉〈あーらミニ〉の売上で運営されており、どの企業、どの政党、どの団体からも1円の援助も受けていません。年会費は婦人問題総合情報誌〈あーら〉(A5 180ページ)とともで4,000円。〈あーらミニ〉のみ購売の場合は2,000円(いずれも送料とも)です。会費・誌代は振替でどうぞ。

〈女と男〉のミニ雑誌〈あーらミニ〉 ●何でも言える
●何でも書ける ●小さな〈ひろば〉=AGORA・〈あーら〉
●あなたの声を待ってます。下欄の編集部へどうぞ。

ある婦人学級の合宿によばれて御獄へ行ったとき、車中
でこんな光景を目撃した。

背負ったランドセルから定期券をぶらさげた男の子と中年の女性の二人連れである。乗車するやいなや男の子は窓に向いて座わり、女性はその脇に腰かけた。パンタロンスーツを着こなした知的なその風貌に、私は一瞬女教師だろうかと思ったが、どうやらそれは母親らしかった。私が降りるまで一時間ほどの間、二人はほとんど口をきかなかったからである。

二人とも、毎日のことだからもう珍しくもないといった表情で電車にゆられていた。時々子供は母親の存在を確かめるように振り向いて、目が合うとにっと笑う。座席からはみ出している後ろ向きの足が、長い割には変に幼なじみに見える。下校時はすいているからよいが、朝のラッシュ時には大変だろうといったまじい思いだった。

それはともかく、この親子について私には二つほど不思議なことがあった。窓から外を見ている子供の肩にランドセルの革ひもがいかにきゆうくつそうなのに、どうして母親ははずしてやらないのだろうか。それから、途中で小学校の上級クラスの悪童どもが乗りこんできて、メンコだのジャンケンだのに打ち興じているのに、二人とも一瞥さえしないのである。私なんぞは「へえー、メンコもこの節は四角いのか」なんて興味しんしんである。まして自分に小さい子でいいたら、うちの子もいまにあんなになるのかな

あと、それとなく観察せずには
いられないだろう。

その後、中学校の先生からこんな話を聞いた。子供の進路指導にあたって、

当人以外に父母からも意見を聞く機会を設けているが、昔のお母さん方は、

「主人に聞かないと……」

と、答える人が多かった。

ところが最近では誰もそんなことは言わない。

ウーマン・リブの昨今、大変結構だと思われるかもしれないが、さにあらず、「子供に聞かないと……」というお母さんが多いのだという。一見子供の主体性を重んじている

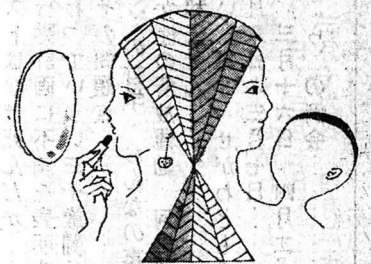
ようだが、前者の場合も後者の場合も、母親としての主体性がない点で同じである。「子供の希望がなんであろうと、私はそれを支持します」あるいは「もう一度子供の意見を確かめたい」というのなら立派なのだが、これと先のお母

さんの答えとは、似ているようで決定的にちがうのである。子供のそばにびったりとよりそって、自分の子供以外には目もくれず、しかもその子供にすら話しかけずに一体感を

味わっているようなあの車中のお母さんを思い出し、親のつとめとは何だろうと考えさせられたことである。

電車の中の
母子
青木やよひ

スタイリストは、なぜ 死んだか？ ■快談・怪談■



出席者

栗原京子(スタイリスト)
保科朋子(編集者)
矢坂祥子(主婦)
石野貴子(会社員)

司会

〈あごらミニ〉編集部

★何で死ぬほど頑張ったの

司会 スタイリストの女性が仕事と家事、育児の板ばさみで焼身自殺した事件について、ミニの二月号でもとりあげましたが、皆さん大なり小なりショックを受けられたと思います。個々人の胸を、単に事件として通過させてしまうのではなく、私たち女性全体の問題として、事の本質を掘り下げて考えたいと思うのですが、まず、あの事件をどう受け止められましたか？

栗原 家に届いた週刊誌を読んで知ったのと、ちょうど同時にお友達から電話があつて知ったんです。「何も死ぬことはないのにねえ」というのが二人の最初の一声だったわけ。でもやっぱりわかるのね。彼女はスタイリストという仕事がとても好きだったと思う。

私の主人は会社の社長のわけ。「奥さん働いてるの？」って言われるって言う

の。私も「奥さん働いているんですってねえ」って聞かれるから、私は「ええ、一生懸命働いていますよ。」って言うんだけど、主人はそれがすごく嫌だったらしいの。ある意味で主人は古い人間なんですけどね。

保科 私は、電車の中の週刊誌の広告で最初に知ったんです。実はその頃、忙しくて、新聞を読む時間などほとんどなかったから、びっくりして週刊誌を買って読んだわけです。これは、わが身に起こったことではないかと錯覚するぐらいでしたね。あまりに私の状況、私の精神状態と似ていましたから。「明日はわが身」という言葉が、もう言葉ではなかった。ただただ全身で受け止めました。

石野 自殺をするっていうのは、非常に怒りがあるわけですね、攻撃が。相手に向けられるべき攻撃が、向けるところが

なく自分に向かってきて、自分を殺すというふうなことになるのですから、個人的には何をやっても満たされないとい

部分があつた人だと思います。心理学的に見ればね。たまたまそういった板ばさみという苛酷な状況のなかで自分の攻撃をどうしようにも処理できなかったという極限状態まで来て、これがずっと伸びてきた。違った状況で、あるいは以前にしてたかもしれない。そういう非常に不幸な人であつた。表面的には仕事と家庭の板ばさみ、なんてことで出てきてますが、そういうところがあつたと思いま

す、私は。

矢坂 私は、またが、んは、り、女性、の、悲、劇、だ、と思、つ、た。亡、く、な、つ、た、彼、女、は、本、当、に、氣、の、毒、だ、け、れ、ど、彼、女、の、よ、う、な、悲、劇、を、作、つ、た、の、は、日、本、の、急、成、長、し、た、経、済、社、会、で、あ、り、あ、る、い、は、日、本、の、民、族、性、な、ん、か、に、も、関、係、が、あ、る、ん、じ、ゃ、な、い、か、し、ら、何、で、死、ぬ、と、こ、ろ、ま、で、一、人、で、頑、張、ら、な、き、や、な、ら、な、か、つ、た、の、か、亭、主、や、周、り、の、人、達、の、冷、た、さ、と、い、う、か、無、理、解、も、そ、う、だ、け、ど、死、ぬ、と、こ、ろ、ま、で、彼、女、を、追、い、つ、め、た、諸、々、の、条、件、は、彼、女、の、考、え、方、も、含、め、て、何、か、間、違、つ、て、い、る、と、い、う、氣、が、す、る。

★「スタイリスト」の特殊性では？

石野 スタイリストの特殊性というか、非常に美的感覚を大事にする仕事だけに主婦である日常性のようなものは切り捨てざるを得ない面があるでしょう。そういう無理も非常にあつたのではないかと

司会 一応、皆さんそれぞれ違った受け止められ方をしたわけですが、栗原さん、スタイリストというお仕事の内容がポイントになっていると思いますか？

栗原 スタイリストっていうのは、カメラマンが仕事をするのに対して動くわ

け。洋服のスタイリストと着物のスタイリストがいるんですが、私は着物の方をやっているんですけど、時間的には、仕事は夜までかかることも多いですしねえ、夕方から始まることも多いですねえ。打ち合わせなんていうと、なぜか夕方からですよ。

それに、現場にいることよりも、それ以外にしているの方が、スタイリストの仕事の大きな割合を占めると思うのね。普段、どこにどんなものを売っているのかとか、物をそろえておくとかね、問屋さんに顔を出したりね。

司会 スタイリストっていうのは、モデルさんが身につける一切のものについての総指揮者、というふうに理解していいわけですね？

栗原 そうですね。世間ではスタイリストなんて言うけど、カッコウよさそうに聞こえるらしいけど、とてもそんなものじゃないんです。よく乞食の引越しなんて言ってますけど、荷物を両手に沢山ぶら下げて、スタジオを往復してね、重労働です。私なんかそれで体をこわしましってね、今休んでいるんですよ。

保科 スタイリストの特殊性みたいなものが、確かに関係していたとは思いますが、でも、どんな職場にいる女性でも、多かれ少なかれ、亡くなったスタイリストの方が抱えていた問題を同様に抱えていると思うんですね。職場の状況や子供の数、あるいは年齢、家庭環境などで、それぞれに状況の差はあるでしょうが、少しでも楽な人は、たまたまラッキーであつた場合が多くて、ほとんどの働く女性には、子供がいる、あるいはつれあいが

いる、というだけで、まあ、子供がいたりつれあいがいたりする人間は男性にもいるわけですから、女だというだけの理由で、相当ハードな生活を強いられる

★シンディイとはシンディイと言おう

司会 そうですね。「彼女はスタイリストだったからだ」と言ってしまう話は終わりにしてしまおうわけ。しかし、働く子連れの女性をとりまくさまざまな問題というのは、職種にかかわらず現にあるわけですから、では、どうしたら、第二、第三の悲劇を生まないようにできるかについてご意見を聞かせて下さい。

保科 さっき石野さんが、あのスタイリストは、何をやっても満たされないといった部分があつた人ではないか、非常に不幸な人だつたのではないかとおっしゃったけど、子連れの女をとりまく状況っていうのは、個と一人の相手で完結するものではないんですよ。つれあいの関係あり、子供との関係あり、保育園なり、子供を預かってもらう人との関係あり、職場の人との関係があり、場合によっては親や隣人たちとの関係も重要です。これらの関係の人たちが、その女性、子供をもつた女性が働くのに協力的であればいいわけですが、全部協力的だなんてことは、まずないんじゃないですか？ 最悪の場合は、全部がその女性に白い目を向けるわけですから、いくら個人の精神力で、あるいは主義主張で頑張っても、人間ですから精神的にも肉体的にも疲労しますよね。

肉体的には、朝子供を起こして保育園

わけですね。だから今回の問題をスタイリストであることにこだわる必要はないと思うんですね。

に連れて行つてから、夜、職場から子供を預けている人の家へすっ飛んで帰り、夕食にして子供を寝かせ一息つくまで、十五、六時間ぶつ通し労働ということもあるわけですね。

あのスタイリストのように仕事を死ぬまで続けるといふか、仕事をしながら自殺するケースも不幸ですが、それとは全く違った不幸なケース、結局、力及ばずして仕事をやめて主婦業に不本意ながらもさまるケース、これは数多くあると思いますね。だから私は、伝えることだと思ふんです。一人でも多くの女たちへ、また男たちへ。なぜ働くのか、なぜ働かねばならないのかを。また職場では、子供を育てるという行為はどういうことなのか、問いかけるしかないと思います。個人のレベルでは、かなりしんどいことでしょうけど。

矢坂 私は言いたいんですけどね、保科さんが今おっしゃった「職場で問いかける……」の内容はよくわかりませんでし

★働く女を支えてるのは周りの主婦

たけど、なぜ、こう頑張っちゃうんでしょ。戦後の、日本の経済成長に等しく、日本人全体が駆け足でつ走って来たわけでしょう。その結果、今こんな社会だけ。女の人がそれと同じことをやってもダメだと思う。と言っても現実には厳しいけど、スタイリストの場合はどうかしらないけど育児時間というのは、正當なものとして取るべきじゃないかしら、もちろん男性も。人間の営みの基本の一つでしょ、子供を育てるということは。今までは、何よりも企業の利潤アップが至上であつて、これがすべての価値基準だつたわけだけれども、一つ一つ私たちの生活をとり戻す作業が必要だと思うのね。もちろん大変なことだけれど。女の人が力の限りをつくして頑張っちゃうと、結果的にその状況を受け入れることになっちゃうと思うのね。そして仕事に進出する女の人たちの中で力弱きものは落ちて行つて、結局男の能力社会——これは利潤追求に最も適しているわけね——。これに女性も吸いこまれて行つてしまふと思うの。だから、「ダメダーノ」「タイヘンナンダーノ」「シンディイノ」って叫ぶべきだと思う、女の人は。でないと、男の人だって、いつまでも女に押しつけるんじゃないかしら、家事も、育児も。

司会 矢坂さんは、主婦業ということですが、やはり今おっしゃったことに関連した理由で仕事をやめたのですか？

矢坂 何だか、装甲車みたいな満員電車に乗って会社へ行き、企業の歯車の一つでしかない自分に嫌になつて、仕事やめて、今は主婦業です。そのうちまた働き出すと思うけど状況はなかなか難しいと

思うから、工場のベントかも知れない。でもいいと思つてます。私、東京から大阪まで歩いて行きたいと思う人間なんです。旅行するんです、新幹線でもなく、急行でもなく、鈍行でもなくね。最低限の生活ができればいいしね。

ただね、主婦業になって、周り見まわして思うのはね、働いてる女性支えてるのは、夫でも会社でもなく主婦だという、何かそういう現実もあるのね。何か、働いてる女性と主婦っていうのは対

★働く女と主婦がもっと連帯したい

立関係っていうか、お互いに相手を非難するみたいところあるけど、家の団地で働いてる人の子供預かったり、保育園へ迎えに行つてその人が職場から帰るまで子供見てゐる人は全部主婦ですよ。その主婦は夫の収入があるから主婦でいられて、時間もあるから子供を預かっていられるには違ひないけど、働いてる女性から主婦への非難めいた言葉を聞くとも複雑な、やりきれない気持ちねえ。私はマイペース主婦だけだ。

保科 支えるということですけどね、私は一歳と三歳の子供がいて、何とか仕事を続けてますけど、「支えてもらいたい」というのは本音ですね。「私は一人で頑張ります」なんて言つても、いかにそれに限界があるか、残念ながら、肉体と子供がその限界を覚えてくれますね。幸いにして私は女性だけの職場で、支えたいと思う人ばかりがメンバーなので非常に恵まれているのですが、長い会社の歴史の間には、子連れとそうでない人、既婚者と独身者の間に亀裂ができてしまったこともあったと聞きました。そんなことを聞くと、結婚してみなければその不自由さを(笑)、子供を持つてみなければその大変さをね、人間ってわからないものなのかなあ、なんて思いたくもなるのですが、単につれあいがいるというだけならともかく、これは相手は大人ですからね。子連れの場合、日本中ほとんどどこにもないわけですよ、両親とも仕事を

環境などはね。保育園の終了時間は五時前とか、会社は保育時間など考えもしない、母親となった女が子供の面倒は見るとのどとしてゐる。私はここで夫の対社会、会社などへ向けての闘いを要求したいのと同じに、母親になるかも知れない、あるいはなつたかも知れない同性としての女性たちはですね、なぜ支えられないのかと思うんです。想像力の貧困でしょうか。独身の女性より、また子供のいない女性より、残業なしで早く帰つても、彼女らは、のんびりと団らんしたり、または自分の時間を有効に過ごしてゐるわけではないんですよ。子供を迎えに寄つて家へ帰ればもうガキ地獄ですよ。亭主が先に帰つていても、新聞読んでゴロゴロしてゐるというのが大半らしいし、疲れた体に鞭打つて、夜中まで一仕事するわけです。疲れた体で残業するのも大変だが、こちらが大変だと、なぜお互いに思ひやれないのか、このへんが

いと思ひますね。

とにかく、先んじて男社会はあり、回転しているわけです。男社会のサイクルです。私がまず女同士の連帯をと言いたいのは、先んじて優位にあるもの、弱い者がバラバラで挑戦してもダメだと思ふからです。ましてや弱いものの中でまた弱きをつくる構図を、女はけつして踏襲してはいけません。

栗原 私はそういう意味で、お友達にはすごく恵まれていますね。仕事の仲間にも、本当はそんなこと通用しない職場なんですけど、「栗ちゃん、無理しないで帰れよ」とか言つてくれますしね。お友達も本当に親身になつてくれる人がいるんです。そのかわり、私も友達を大事にしますから。私は仕事を持つ女は、一にも二にも夫との関係、あとはお友達だと思ひわねえ。

石野 私は、つれあいの考えもあつて、子供は産まないつもりなんだけど、でもすごく迷つてるところがあるのね。職場で、女の人で子供がいて大変だなと思う気持ちはあつて、できることはいくらでも協力したいけど、でもウチの職場なんて

★男は黙つて仕事を続けられるのに

司会 栗原さんは、お子さんがいらしても、ずっとスタイリスト続けてこられたんですね。

栗原 私の家にはお手伝いさんもおらずしてね、実家が近くで父や母が健在でしたから。

でも私は死にませんよ。絶対に死にません。もし私死んだらです

プロ意識というのがすごく強く、プロはプロとしてのことを要求されるわけ。子供が四十度の熱だろうが何が起ころうが、仕事は仕事だ、という考え方ね。私もプロはプロでなくてはいいないだろうと思つたり、そのへんわからないんだけど……。

栗原 スタイリストの場合は、結婚してゐる人はいても、子供がいる人はほとんどないわねえ。まず無理なのは、ほとんど無理ね。プロであることを要求されるから、仕事のきつさは徹底してゐるし、夜中とか、時間はメチャクチャだし。石野 そうねえ。スタイリストでは無理ねえ。

保科 それでは、男は父親になろうがなるまいが、仕事の内容に関係なく、女だけが、仕事を変えざるを得ないような事実を肯定してしまふような危険性があると思ひます。そういうふうに通つてしまふと。端的に言えば、子供の保育環境をもつとよくしなければならぬということだと思ひます。例えば二十四時間保育や、月曜日から金曜日まで保育といった形を考える基礎作りからかしら。

よ、本当に、私なんか今までに二度あります。「死のうかつ」で。死んだらどんなに楽かしらと思ひましたけどね。あとに残つた子供のこと考えましたらね、やつぱりちょっと死ぬつてことはね、無責任じゃないかしらと思つて。でもやっぱり死を思ひつめてる人って、そういう状態にいる時でね、私が死んだら、あと

子供はどうか主人公がどうかかってことは、入ってこないんだと思いますね。かなり発作的だったのでしょうかねえ。保科 私は、彼女の神経は磨滅され磨滅され、ついに一本の糸より細くなつて、それが切れたんだと思いますね。残った憤りだけが、自殺へのエネルギーだったと思います。

創る女

司会 一人のスタイリストの死をめぐつて、「女が働くこと」の底辺にある問題が、一部とはいえ出てきたと思います。これ以上犠牲者を出さないためには、支え合おうということ、また働いている女性、夫との関係をよい方向にもっていくこと。やはりそこを逃げないで考えぬき、実行しぬいていくほかないと思います。

すね。しかし、口で言うのは簡単で、それを基本的に支えていく社会通念がない。「国内行動計画」はそれを変えていく原動力になるべきもののなのに、最も基本的な部分が欠落していることは、へあごらミニ二月号の巻頭で指摘しているとおりだと思います。現実には死んでしまった人がいるのに「私なら死なない」と

言っても仕方がない。保科さんが言うように、神経を磨滅し、磨滅しつくして死ぬ人が今後もないという保障はどこにもない。そこを十分に考えて、さしあたり「国内行動計画」を、本当に女のいのちを守るためのものにする努力を続けませんか。それが彼女の死をムダにしないことだと思いますが……。



石の彫刻に魅せられて

川島登茂美さん

愛知県岡崎市にある石工団地。石のかたまりが点在する作業場の中で砂ぼこりにまみれて石を刻む女性がいる。

川島登茂美さん(32才)で彼女の石とのつきあいはもう十年以上にもなる。

美大の彫刻科の学生時代に、素材としての石に魅せられ刻みはじめたのだという。

現在は、仕事場との契約で午前中石仏彫りの仕事、午後は作業場のかたすみで、自分の作品の創作にとりくんでいる。

「石仏は人が手を合わせるものですから彫っていて身がひきしまります。一生に一度でもいい顔のお地藏さんを彫りたい。」という。

そして彼女の作品は女性の体をデフォルメしたもので、冷たい石が彼女の情念の化身となるものだ。作業は力と忍耐を必要とし、何か月かでひとつの作品が仕上げられる。

それでも、「石が好きなんです」とノミを離すことのない毎日だ。

撮影・文・松本路子

集会から

政府の国内行動計画に不満を表明する集会ほか

集会から

具体的に活発な発言

政府の国内行動計画に不満を表明する集会

二月一日、国内行動計画発表以来、抗議を続けていた三十八婦人団体は三月五日主婦会館で初の組織的な集会を持った。まず代表の市川房枝氏が「多数寄居橋でのピラマキを終えたばかり」と前向きに、「抗議集会にしよう」という意見も多かったが、「一応、不満表明」の線になった」と、会のいきさつと、「不満」のポイントを説明したのち、政府の立場を婦人問題企画推進本部の久保田参事官が説明、「行動計画は憲法の個人の尊重、男女の平等、労働の権利に支えられている」「単なる作文ではない」と力説した。

続いて会の実行委員会から六人の委員が六分野にわたる批判を表明、会場からそれをさらに補なう発言が続いて、満席の二百人が興奮に包まれた。この間、久保田参事官は退席。政府側と直接接り合うことを期待して参加した人の中からは失望の声も洩れたが、「今回は第一回、まず内部の問題を調整するのが目的」と実行委員会側が説明、今日の発言を盛込んだ決議を政府に提出することが拍手のうちに可決された。

それぞれの発言は実感と迫力があり、久しぶりに感動的な集会に参加した思いがした。が、実効をあげるためには、不満の追求にとどまらず、「考慮」「検討」にせよ、計画の中に明言されたよい内容は積極的に支持し、その実行を迫ることが必要だろう。なお、決議案が終わり近くなつて会場に配られたが、こうした「案」は、会の初めに配られるべきもの。時間切れてシャンシャンと手をうつという男の論理的方法そのものも検討されてよいのではあるまいか。また、いつも草の根グループやリブ系グループには、こうした集会の呼びかけがないが、幅広い運動のためには、まず婦

人団体間での差別解消を望みたい。次回は政府側と話し合う会が持たれることを期待する。(ち)

恐ろしいことが

起ころうとする恐ろしさ

刑法 改悪に反対する3・4集会

日本弁護士会推せん委員・幹事が総辞任したまま法案審議会少年法部会で強行可決された「少年法改正草案」や、集会・言論の自由の抑圧のおそれ各界が大反対の「刑法改正草案」が、国民の知らぬまに目の目を見ようとしている、とあつて、会場中野文化センターは、在野法曹界や市民運動の人々の熱気でムンムン。五十も前がよえるというのに、堕胎罪などは残る、女の問題にも深い関係がある、と、女性も半数近く参加。

まず二人の弁護士さんから、「人間を信頼すべきものとしてでなく、罪を犯す可能性のあるものとして見ている基本姿勢がおかしい」と、刑法、少年法、それぞれの立場から「おかしさ」の具体的な説明があったあと、小田実氏が登場。「何かヘンなことが始まろうとするときはど原理原則が明らかでない。コソコソした動きがあると、世の中がサツサツと変わる」と、事例を豊富に盛込んで、場内を湧かせながら説明。なるほど、聞けば聞くほど恐ろしい話。憲法施行三十周年になるという今年、ぜひみんな考えておかなければならない。五月二十八日(土)九段会館でまた集会があるという。幅広い参加を期待したい。(さ)

感動的だった沢田教授の講演

へあこら東海 3月例会

南山大学の沢田マルガレータ教授が筑波大学に転任されることになったので、お別れを兼ねて「国

際的に見た日本婦人の結婚」について話して頂いた。さすが経済学者らしい社会的分析に満員の会場からも質問が続出、「日本の女の集会は、ただだまってお話聴きが多いのに、意欲的なグループだ」と、おほめ(?)頂いたほどだった。

前回の天野氏、今回の沢田氏、共に感動的なお話だったが、講師のお話を承るだけでは、次回には私たちの立場から「結婚をみつめ直す会」を持つ。なお岡先生の講演はへあこら16号「結婚を考える」に掲載される予定。(ま)

保育問題を考え続ける

へあこら北海道

女性の自立、職業進出のためのかめとしての保育問題を勉強し続けて一年。保育論の本を読んだり、保育園を見学したり、無認可保育所の保母から園長になった方々や、保育園に預けている母親の声を聞いたりしてきたが、それらを整理し、検討する段階に入った。勉強と並行して続けてきた運動「保育ママさん制度反対、産休明け保育所設置要求」の延長線として、保育料値上げ反対など行政への働きかけにも他のグループとともに参加したいと思っている。細々とながら勉強と運動を続けるうち、参加者の一人が、出口なしの主婦の状況から保育所に子どもを預けて仕事を持つことに成功したのはうれしかった。それに刺激され、他に二人があとに続こうとしている。

昨年、郵便料値上がり等のため「北海道通信」の発行を中止、横のつながりがたちきられた感が強くなつていた矢先、発起人の山口さんが岩見沢に引越したり、会発足以来活躍していた池田さんと堀さんが東京に移ることに、痛手の連絡。でも何とかガンバッテやります。道内の方々、ご連絡を。(や)

これから・その後

名古屋放送若年定年裁判・勝訴後二年半 終わっていない三十歳闘争

清水 陸子

「名古屋テレビにおける女子三十歳定年制徹底」の報告をへあごら」に載せて頂いたのはおとしの二月。それからわずか一年八か月、密度の濃いこの月日に私は試され力及ばず、退職という形でしか切り抜けられなかった。迷いの中でラクになりたいと目をつむって退職を決めた夏のはじめの日、夢の中で私は何かに追われて逃げた。

広範な支援のひろがりの中で、当事者二人が職場に戻ったのは五十年の正月明けだった。闘争中の六年間に、約五十名の女子従業員はその三分の二が一年ごとに契約更新の嘱託採用になっていた。ウラ若い美人ぞろい、事実上の定年制というわけだ。私の原職の報道庶務も嘱託になっていたが、

職場は「帰ってきたオバサン」に居心地は悪くなかった。とはいえ一日の労働時間を満たすだけの仕事もなく、ただ前任者が辞めるのを待つだけという立場は何ともやり切れないものだ。あまりかねて私は庶務以外の仕事をさせてくれとデスクに要求した。デスクは、組合との協定が原職だからとしりながら、非公式に取材に出ることを認めた。社にはアナウンサー（社員1、契約3）以外、現場関係の女性はいない。全くの見よう見まね、冷や汗かきながらの取材の中で、私は「主婦」という言葉の重みを次第に感じるようになってきた。男性取材者は、コノントの中で主婦という言葉をもっと簡単に使う。そこには生身の日常を無視し去った画一的なイメージが感じられる。私が書くなら、人間としての主婦の実感をとらえなければ意味がない。しかし私自身に暮らしに根づく

確かな主婦の目があるか。一見平穏にみえるその奥のいらだちを映すことができるか。ただ通りすぎるだけとしたら。ひそかに恥じた。仕事と子供の板ばさみに悩んだのもこのころだ。保育所の迎えの時間に間に合わない日がよくあるようになった。共同作業中で責任範囲だけは果たしたい。六時になると、子供の顔がチラついてあせった。夫も職種がら残業が多い。無理に頼んで迎えに行ってもらった日はものも言わず、ふだんは優しい男にのぞくホンネを思い知らされるのだった。仕事に打ちこむことが働くことを難かしくしていく……。女が働くことの矛盾の一つを私も思った。

こんな毎日の中で少しずつ私は学童保育の準備をすすめていた。子供は四人、小学二年の長男は入学と同時に母にあずけていたが、まん中の双児の入学を機にどうしても手もとにおきたい。カギツ子にするなら帰さないとい母は言う。チラシをまいたり町会に頼んだりしたが、なにしろ交通不便な新興団地のこの辺は共働きがほとんどいない。我が家を会場に始めてはみたが、総勢五人、うち一人はすぐやめた。指導員は雨が降れば休む。数少ない近所の友達も親が言うの come ない。この地域のようにカギツ子がいなくていいところでは共働き家庭に限定しない児童クラブのような形が望ましいとは考えながらも、十分に深められないまま日が過ぎていった。

一方仕事は、前任者が三月に結婚で辞め、庶務に戻った。ハミ出す時間に気をつかうことはなく

なったが、正直な気持、単調に続く庶務の仕事に急に色あせて感じていた。末の子の保育所をまわって帰宅は七時十分すぎ、乱雑な部屋でテレビに見入る三人をやるせなくながめ、大急ぎで食事、風呂、九時には寝せたいと二時間弱の大奮闘。家族にも自分にも余裕をなくしていた。そんなころ長男がしきりに頭痛を訴えはじめた。もしやと心配になり大学病院で検査を受けたが全く異常なし。医者は頭をひねった。どうやら心の痛みのようなですね。乳児のころから親と離れることが多く順調な親離れをしていなかった長男は活発で人気者の面の裏に、両親の留守をあずかる責任感とさびしさが耐えられなかったのだらう。この子にとって今が一番母である私が必要ではないか。今の状態で働きながらそれができるだらうか。私は女子三十歳定年制という私にとって許せないものをなくすためにがむしやにやっていた。情性でなくやりがいをもって働くことを願っていた。働きながら自分の吸収するすべてを子供への愛情にできると信じてきた。しかししかかわって来た種々のことにひたむきさをなくしたと感じながら子供に無理を強いるのは、犠牲以外の何物でもないのではないか。疲れから私も貧血をおこすようになった。

もう一人の当事者大木さんは、あなたの分もがんばらなくちゃ、と言ってくれた。私たち以後三十を越した女性も四人になった。しかし私には、問題点をそのままにして自分の範囲内だけで処理してしまっただけのさがついてまわる。働き続けるというところにあった私の一つの価値観が、実践を伴わなくなつた今、そのことを、やめざるを得なかった。とまぎらわしてしまいたい甘えと自己弁護がおぞましい。女が働くということ、社会の現状を、甘えを捨ててどう受けとめていくか。三十四歳の平凡な主婦である私が、改めて考えなければいけないことかもしれない。

資料 国内行動計画 (前号の 続きの)

4 育児等に関する環境の整備

婦人の社会参加の増大に伴い、婦人が多面的な役割を調和的に果たさうとする環境、条件の整備に努める。

7 保育施設は、逐年増加を続けているが、なお整備を要する状況にあるので、今後、保育施設に対する需要の多様化に伴い、その基本的なあり方を検討し、その整備に当たるとともに、保育の計画の養成、確保を図るため、養成施設を拡充し、修学資金貸付制度、産休・病休代替職員制度を充実する。なお、子どもを持つ看護婦が職業を継続しやすくなるため、病院内保育事業に対する助成を推進する。

イ 勤労婦人が雇用関係継続しつつ一定期間育児に専念することを可能にするため、育児休業制度の導入についての企業に対する奨励措置を拡充するなど普及促進に努める。また、「義務教育諸学校等の女子の教育職員及び医療施設、社会福祉施設等の看護婦、保母等の育児休業に関する法律」の円滑な実施に必要な措置を講ずる。

ウ 家庭の育児機能を強化・補完するため、児童館等児童厚生施設の整備、母親クラブ等地域活動の推進、校庭の開放の推進等生活環境の整備を図る。また、勤労婦人の総合福祉施設である働く婦人の家の機能の充実に努める。

4 啓発広報

男女平等と婦人の社会参加に関する気運の醸成に努める。そのため、婦人週間、婦人労働旬間、人権週間その他広範な機会と広報媒体を活用して、啓発広報を展開する。

3 母性の尊重及び健康の確保

母性は次代社会の健全な発展のために不可欠であり、社会全体として、これに対する十分な援護態勢が確立されなければならない。

(一) 母性保健

母性の健康の増進、次の世代の質の向上という観点から長期的展望に立った母性保健対策を推進する。

ア 結婚、家族計画、母性保健等についての知識を普及し、婦人が母性の重要性を自覚し、自らの健康の維持増進に努めるよう必要な指導を行う。

イ 妊産婦期の健康管理のため、母子健康手帳の活用、健康診査、保健指導、妊娠中毒症対策、歯科衛生等の充実を図るほか、救急医療体制全体の整備の中で妊産婦の救急医療に配慮する。

ウ 母性の保健指導を行う市町村レベルの拠点として、母子健康センターの一層の整備を図り、保健所、母子保健推進員等との連携を取りつつ、一体となって、母子保健活動を推進する。

(二) 母性保護

勤労婦人が、妊娠・出産を理由として不利益を受けることなく、その期間を通じて健康を維持増進し、福祉を十分享受することができるようにするための施策の充実を図るとともに、母性保護のあり方を検討し改善に努める。

当面、労働基準法に定める産前産後休業等の規定の遵守を徹底させるとともに、勤労婦人福祉法に基づき、妊娠中及び出産後の勤労婦人が母子保健法の規定による保健指導を受け、その指導事項を守ることができるよう事業主に対する指導の徹底を図る。また、事業場における母性健康管理推進者の設置動奨及びその資質向上のための対策を実施するとともに母性健康管理指導医の増員を図り、行政指導体制を強化する。

(三) 母性給付

母性給付の水準について、我が国の現状を踏まえつつ国際的に見て整備を要すべき点を含めそのあり方を検討し、改善に努める。特に、分娩給付については、出産に要する標準的費用を考慮してその改善に努める。

(四) 地域保健

農業等家業に従事する婦人、家庭婦人等組織的な健康管理の対象となっていない者の健康の維持・増進に特に配慮する。

そのため、一般成人病及び婦人特有の疾患に対する各種の検診事業、保健指導の充実を図る。また、健康、栄養問題の視点の変化に伴う健康対策に留意し、地域のスポーツクラブ等の活動、栄養改善活動の活性化を図り、婦人の積極的な参加を促すとともに、調和のとれた栄養、運動、休養の指導を推進するため、健康増進センターの設置を促進する。

4 老後等における生活の安定の確保

家庭の主婦等固有の所得を有しない婦人を含めて、老後の生活の安定を確保するとともに、社会的に困難な立場にある母子家庭等に対する援助を強化する。

(一) 年金制度

被用者の妻は、勤労婦人及び自ら国民年金に加入している者を除けば独自の年金等を有しないため、離婚等の場合、年金の保障がない等の問題を生じる。このような被用者の妻の取扱いについては、年金制度全般について長期的検討を行う中で、老後の経済的安定を確保する方向で対処することとする。また、遺族年金の水準についても、所要の検討を行う。なお、保険料率、支給開始年齢等については、婦人の就業実態等を勘案して、男女間に差異が設けられている場合があるが、男女間の均衡を図ることを基本として検討を進める。

(二) 福祉サービス等の充実

老後生活の安定と充実を図るため、特別養護老人ホームを中心とする老人福祉施設の整備等による施設サービス、家庭奉仕員の派遣等による在宅サービス等、各種の福祉サービスを充実させる

とともに、老人クラブ等生きがい対策の強化を図る。

3 母子家庭等の自立と安定

母子家庭等の生活の自立と安定のために必要な、就業、福祉等に関する施策の充実を図る。

母子家庭に対して、社会福祉の充実、雇用環境の整備等を総合的に見地に立てて進めることとあわせて、職業安定機関による積極的な職場の開拓、家庭環境を配慮したきめ細かい相談、職業紹介、職業訓練の実施及びその受講を容易にするための配慮を行うほか、専業主婦等雇用奨励金を活用しつつ、雇用の促進を図る。

イ 母子・寡婦資金の貸付け、母子相談員による生活相談等母子家庭の自立促進のための施策の一層の充実を図る。さらに、母子福祉センター、児童扶養手当の支給に係る子の年齢等について段階的に改善を進める。

ウ 母子家庭の住宅対策を推進するとともに、母子寮の設備、配置の改善及び関連施策における位置づけの明確化を図り、また、母子福祉センター、母子休養ホームの一層の改善に努める。

エ 中高年独身婦人に対しては、全体的な福祉の充実の中でその生活の安定を図るほか、公的資金による住宅の貸与、分譲及び資金の貸付け等について中高年独身婦人も利用し得るよう検討を行う。

五 国際協力の推進

「国連婦人の一〇年」に当たり、我が国も国際社会の一員として、男女平等と婦人の社会参加及び平和への婦人の寄与を増進するための国際協力を推進する。

(一) 国連の諸活動への協力

国際連合を中心として展開される世界の婦人の状況改善のための諸活動に対して協力を進める。そのため、国連婦人地位委員会への協力、婦人に関する諸基金への拠出、その他「国連婦人の一〇年」のための諸事業への協力をさらに推進し、特に、イランに設置を予定される婦人のための研修、研究施設に対して協力を進める。

(二) 技術協力の推進

政府ベースの技術協力の実施に当たり、研修員の受入れについては、婦人関係行政セミナーのほか、開発計画、農林水産、軽工業、医療、通商貿易、教育、訓練等広範な分野にわたって、開発途上国から広く婦人の参加を期待するとともに、我が国からの専門家、青年海外協力隊等の派遣に当たり、婦人の幅広い参加を促進する。また、プロジェクト方式による技術協力の実施に当たっても、相手国政府の意向を尊重しつつ、相手国の婦人の参加に十分配慮する。

国際分野の政策決定への参加

国際分野の政策決定への婦人の参加を促進する。

読む

真尾悦子著 土と女

出稼ぎ未亡人とその周辺

昨年の梅雨どきの事だった。路上で倒れていた男を救急車で病院に収容したが、医療費の支払いができないからという連絡を受けたわたしは、本人と面接した。出身は東北、妻子は郷里にいたが、数年来音信不通。山谷のドヤを転々。肝臓が悪くて加療が必要だったが、数日後に姿を消した。明らかに男は出稼ぎだった。あの時の男の朴訥とした語り口を思いだす。農閑期に入ると当然の如く村を離れていく男たち、彼らと半年も離れて暮らす生活を余儀なくされる女たちはどう考えているのだろうか。ケースワーカーという職業を通してわたしの思いは尽きない。

農村は安泰だという先入観を持った著者が、雪に埋もれた村々を歩いてかわした数々のことばを、まるで自分が聞いたような錯覚を持つ。「彼らの中側を冒しているものを断たない限り、出稼ぎ問題を解決する糸口はみつからない」という発言がなされているが、これに尽きるのだろうか。たしかに都会の消費形態があらゆる形で、生産者としての農家を侵

し続けた事も事実である。曲って不格好なきゅうりや、ワックスをかけていないみかんが見直され始めたのもごく最近のことである。しかも、そこにはあくまで消費者のエゴのみが目立って、生産者と消費者という密な関係の上に立つ認識が欠けているように思える。著者も、最初の単純な動機を恥じているが、現在のような不況の下で、出稼ぎ者とその家族の実態がいかに非惨かということ

は想像にたくなく、都市と農村にこれほどまでの距離ができたことにもどかしさを感じる。

農村に入りきらなくては理解できないと突き離されつつ、雪の中を尋ね歩いた著者の視点が、今後どう掘えられるか、それはわたし自身の問題でもある。(文芸春秋二〇〇四(雅))

聞



広い底辺が支える

米国の女性解放運動

河野貴代美

女の生きざまを追う番組がふえた

一月から二月中旬まで古巣のアメリカで過ごして気づいたのは、半年の間に女性番組がかなり変化したことでした。「シーブオペラ」と呼ば

福田定良著

〈面白さ〉の哲学

本書をたとえば、最近注目を浴びた「甘えの構造」をひもといた時のような、明快な読後感を期待して読むのは、著者にとつて迷惑かもしれない。たしかに〈面白さ〉についての分析も行なわれているが、少々まわりくどい表現がみられ、読んでから、むしろ「はてな？」という感じにおそわれる。しかしそれこそが、福田氏の意図するところであらう。

安易な断定や、表面的な明快さなどからははるかに遠い。それは、福田氏のもっとも批判する他人の(それも主に外国の)思想をかついて「哲学者」と称している人たちのもので

れるよめき番組もあるけど、女の生き方、一個の人間としての女の成長などに焦点をあてたしつかりした女性番組がふえた感じでした。一昨年、CIAとの関連をうわさされてマスメディアから引込んでいた「MS」のグロリア・スタイナムもさかんにテレビに登場していました。女性番組で「税金の申告の仕方」といった具体的なテーマも取上げられていました。

・性差別者、では恥ずかしい

テレビといえば、性差別者、ということはマイナスの評価をハッキリ負うということが定着したのを感じ

ある。だから彼は「疎外」などという普くさいことばの代わりに、「面白くないこと」という実感に思考の出発点を置く。自分を「ダメな哲学の教師」と自覚して大学を辞した福田氏にとって、象牙の塔での「哲学」は一貫して「面白くないもの」であった。ところが、職業こそちがえ、同じような「実感」を持つ人たちの交流のなかで、その「実感」は次第に〈面白さ〉ものとなる。彼はそれを、消極的「私」の発見から、積極的「私」の創造としてとらえているようにある。そのときこそ生き生きとした人間関係が生じ、真の対話が成立する。これこそが「面白い人間関係」であり、そこに初めて他者の眼を通じた自己の発見という、創造的な場面が生ずるものである。

この意味での〈面白さ〉を、氏は「interesting」という英語を使って、「間に」inter「ある」est「を」を説く。これが難題であることは疑うべくもなく、それを人一倍自覚しているのも福田氏自身であらう。その意味で、おそらく著者の想像になる二人の外国人(イタリア人とドイツ人)と氏の延々と続く対話がまさに〈面白さ〉なのだ。(平凡社八六〇円(純))

編集企画室CU編

別冊宝島④おんなの事典

ウン、これはおもしろそう。たくさんのお物の中からおっぱいの表紙(イラスト・大橋渉)のこの本を見



★★★北村三和子さん

診断 ● 将来の筋金入りリブまぢがいなし。

既往症 ● スチュワーデスとして世界を飛びまわり、在米一年、在中国一年半。とびぬけて美人でさわやかで、人に好かれ過ぎるのがたまにキズ。

理由 ● まずパンチがある。行動力がある。一年前はかなり大上段にふりかぶり、やおらむずかしいことを言っていたが、自分をだんだん横にして、水平にものをみるようになって変わった。中国は北京の、日本大使館などという砂漠のようなところで、へあごろん片手にノドをうるおす一滴の水にもなろうというけなげさ。

治療 ● 投薬必要なし、外来治療でよいが、通院のたびに、多大の精神的サポートがあれは問題なし。

予後 ● へあごろのみならず、世界のリブにかかわっていかれる。ホメすぎかな？

へあごろ東京へ・S

じましたね。

たとえばジャクリン・ケネディ・オナシスのドキュメンタリーで、ホワイトハウスの旧職員たちが、「ファーストレディとしての彼女の役割は何だったか」と聞かれると、「彼女の役割は米国の最高機能、ホワイトハウスの中枢には関与しない」と言うとき、一様に「自分はメイル・シヨブニスト（男性専制主義者、広くは性差別者）ではないんだけれども……」と一言いにくそうに断わっているですね。昔なら言下に「ホワイトハウスの内装や大統領の補佐的な役だ」と言っただけでしょう。

リブ以外の人もリブに共感

ボストンの「ウーマンズブックストア」に行つて驚いたのは、ミニコミ誌などにレズビアン関係がものすごくふえてるんですね。同時に書店も大きな構えになり、量も種類もふえてました。「MS」などは五十万出てるといふし、女の手から手に渡るから潜在読者が百五十万はいるという。これが出た当時は「MS」を読んでいるとリブだとひやかされたものだけだ、「働く女性」「Working Woman」という雑誌も出て、リブが特殊なものではなくなった。自分はリブだと名乗る人（リバーという）でなくてもリブに理解があり、底辺が実に広いのに感心しました。

ベティ・フリダーマンの第二の本、「運動は私の生活を変えた」It changed my life」が出ていました。が、あちこちの講演の寄せ集めが

大部分で評判もあまりよくないようでした。

下からつくる「行動計画」

行動計画は、ベラ・アグザックという女性の元国会議員が、彼女の在任中の国際婦人年に決まった計画案をどのように推進していくかという法案を提出し、それが通つて何百万ドルというお金が決まり、州ごとに具体的にどうするかを決める委員会がつくられ、たとえばニューヨーク州は三月に州大会が開かれるということでした。連邦大会は八月に開かれ、秋には国際会議もあつていいのではないかと話したが、法案が政府のお仕着せでなく女たちの要求で作られ、それを審議にのせる入口があり、「いいよ」という人々のダイナミズムがある。このへん、うらやましいですね。

日本では、米国のリブというところを向く人たちが、NOWは中産階級のリブでだめだとか、頭ごなし否定する人が多いけど、そういうふうにかっこでものごとくくりたくありませんね。学べるものはアメリカにも多い。どこからでも学べると私は思います。

カーターが就任式のあと、キャピタルからホワイトハウスに歩いて行った姿は新鮮でした。カーター政権がどのように米国の女たちの要求を変えるのに寄与していくかわからなけれど、マイナスよりプラスのほうが強いように思うのは楽観的すぎるかしら。

(あごろ会員)

「ジグをくつていくにつれ、私の勤が当たつていたことになづきながら、楽しく読みはじめた。

「今女にとって必要な情報を集めた本を作る方向で始めてみた」と、この本づくりにたずさわった女たちが書いてるように、盛りだくさんの情報がつまっている。第一部からだ編——私たちの体、私たち自身、第二部出会い編——おんな同士仲良くしようよ、第三部生活・文化編——ほんとうの豊かな生活とは、第四部法律・制度編——しくみの中で自分を活かす知恵、という四つのパートにわかれてる。全部で百九十一もの項目があり、コンクリートのこね方、中古衣の再生法、乾燥食品のつくり方などイラスト図解入りですぐに役立つものから、さまざまな女たちの生の体験にもとづく意見や提案、弁護士である専門家の女たちによる労働やめくごとの処理、弁護士の頼み方など、実際にその必要に迫られないとふだん見すこしてしまう事柄についてのやさしい解説もよい。全体として、気楽に読める女の問題の便利帳という感じだ。序文にあたる「ありがとう」のところで彼女たちもいつているが、盛りだくさんといっても詳しいのは限られた分野のもので、私などはもう少し子どもに関する具体的な情報——いい保育園や保育グループの紹介などがあつたらという感じがした。私のつれあいなど先取りして楽しく読んでいたが、男たちもぜひよんでほしいものだ。

(JICC八六〇円)(印)

切抜きから

1977.2.8→3.7

母子心中・子殺しゼロ。
生き生きとした女の記事ばかり。
その日を目指して切抜きます。

変わる・変える

目の不自由な人のために
盲人のためのテープ図書館つくりを続けているグループ「松戸朗読奉仕会」はほとんど主婦で構成され、ゆつくり、息長く、をモットーに活動している。発足五年、テープも三百七十巻になった。奉仕と同時に自分にとっても勉強になったという人が多い。(2・9 毎日)

日本有職婦人クラブ全国大会
テーマは「働く女性の中年からの生活設計」安定した老後について話し合った。その点でも国内行動計画の具体策の乏しさが指摘され、特別委員会を設置、政府に働きかけることを決議した。(2・9 読売)

女が作る「週刊さくら」
全員女性記者というこのミニコミが百号を迎えた。発行部数一万。読者は若者や主婦。吉祥寺に買い物に来る人たちのためのものだが、記者は中学三年から四十七歳の主婦まで「パート」の八人。一部三十円。二三日で売

り切れるという。(2・10 毎日)

科技能、委員、主婦中心に
「茶の間で語る科学技術懇談会」が年間予算二、三百萬円で発足。十一人の委員中女性が七人。(2・11 読売)

女性の応募はダメに怒る
政府資金によるアジア経済研究所の大卒職員募集を「日本男子」としての労働組合が抗議したが、研究所側は「国籍」だけを削って求人広告したため婦人部は百人近い署名を集めて撤回を迫り、国会にも働きかける。(2・14 朝日)

監督官庁の通産省が是正を指導。同研究所は「男女募集」の広告を出すという異例の措置に踏み切った。(2・16 朝日)

業者より強かった妻は
年間三百トン以上の洋酒びんのほとんどを市が処理する川西市で、婦人による運動がみられ、サントリーに全品目回収を踏み切らせた。今後運動の輪をを広げ、回収・再利用による経費増が値上げの理由にされないよう監視する。(2・21 朝日)

手をにぎる「内職・パート」
二十二、三日総評主婦の会主催で開かれた「第十三回内職・パート大会」に約三百人が参加。昨年の内職工賃の平均は時給二百六十四円で前年より六十三円アップ。だが二百円以下が半数を占め、家内労働手帳を受けているのは五割。この打破のため時給四百五十五円以上の要求と、労組との連携などを決議。(2・26 読売)

職業訓練手当、四月から実施
母子家庭の母親の就職のための職業訓練中を保障するもの。問合わせは職安へ。

（2・28 朝日）
保母試験に男初挑戦
都立の保母養成所の試験が行なわれ、初の男性受験者は九十八人。初の中にはすでに保育所へ働く「無資格保父さん」の姿もみられた。(2・28 各紙)

老人へ毎日二回温かい給食
福岡市のベッドタウン春日市で始めて一年半。本人負担は月一万三千円。社会福祉協議会の事業で、大阪のように主婦のボランティアによるものではない。高く評価されている。(3・2 朝日)

車いすの女子に大学入学許可
六歳でせきすい炎にかかった白石さんが名古屋の日本福祉大学の入学を許可された。学費が安いので指折りの同大生は、便所を特設、段差をスロープにする工事もある。(3・3 朝日)

保父誕生
全国の保父数は約四百人だが、法令の裏付けのない「無認可保母」が、全国男性保育者連絡会の三年越しの運動で、厚生省は三月中にも政令改正を行なう「認知」する動きだ。十四万人の保母に対し四百人は微々たるものだが、大企業入社の困難、家事の共同負担などの社会的背景で増加の見通し。すでに看護士・準看護士は六千人、保健婦に男性採用の要望もある。(3・3 朝日)

「行動計画に不満を訴える会」
国内行動計画の是正を迫る民間三十八団体が、五日主婦会館で不満の内容を表明、今後の対策を練った。(3・6 朝日)

奨助金に熊本女性力ッ
道路掃除など地区の共同作業に女性が出ると男の三分の二以下と評価され奨助金(しりすけきん)を五百円から千円とられる。八十すぎた男が一人前とされ、よく働く女が追加金をとられるとは!と熊本婦人少年室が是正を指導。(3・7 朝日)

調査から

春通し、庶民の台所
春闘共闘会議の組合員三百三十五世帯を対象にした家計調査によれば、被服費、光熱費など実質〇・三割の減少で家計の切りつめがうかがえる。一方、家賃地代は二・七割の上昇。収入面では四軒に軒は妻が内職やパートで補っている。(2・10 毎日)

添加物に親も子も無関心
板橋区の都立志村高校、家庭クラブの女生徒が行なった「食品を見直そう」―飲物を追っての研究。同じ仲間の高校生の意識調査をしたり、消費者センターで着色料の検出テストをしたり、地域の自動販売機を調べたりした結果は、有害添加物があまりに多く、それが入っていることを知っていたのは三四%。知らないと言えた七〇%が女子。(2・10 毎日)

おふくろの味よりCMの味
「子ども文化研究所」の食べ物調査によると、好物上位はテレビCMでおなじみのインスタント食品で、ハンバーガー、カレーが一位、二位。きらいなのはピーマン。子どもの味覚はCMで決まるといふのと評論家石子順さんの弁。(2・10 毎日)

しつけ厳しいフランス家庭
家庭でのしつけがきびしいの

「定説」通りの伝統を色濃く残しながら少しずつ変化しているのが実情。パリの母親約二百人中、わが子を大学には二・三%、能力しだいで、六六%。二年間パリで暮らした彦根市立南中、荻田教諭の調査で。(2・13 朝日)

男女学生意識調査―名城大
結婚の理由:精神安定のためがトップで男四四%、女三六%。同棲賛成は両性の約半数。将来自分の趣味にあった暮らしを、女六六%、男四四%。男の九五%、女の八九%が就職希望だが、「結婚してから妻が働き続ける」は男三四%、女一八%。子の成長後の再就職希望は六五%。(2・19 朝日)

女性の九割が「自主投票」
十二月の総選挙を「民主政治をたてなおす市民センター」と「婦人会館」が都内の婦人にアンケートした結果、九〇・八%が自主投票。(2・20 読売)

大学卒女性の職業生活
職業研究所婦人雇用研究室が昭和三十五年に出た女子を調べた結果によると、十五年間退職せずは一五%で残りは結婚・出産退職。八年目からは内職希望が急増。「子どもができてでもできる限り継続すべき」が四四%もある。(2・25 読売)

花むく九割が「お色直し」
東京のマツヤサロンが昨年舉式した七百八組を調査した結果では花むくの九割が紋服から白のタキシードに着替えていた。(3・1 朝日)

病気の予防には家庭円満
ひんぱんな引越、身内の死亡、失業、離別などの家庭では罹病率や事故の率が二・三倍高くと、全米公衆保健協会年次大

裁判・法律

胎児性油症児に焦点
油症新認定患者百五十五人を原告とするカネ・第二陣民事裁判が福岡地裁で開かれた。要求損害賠償額は二十五億八千万円。原告中最年少者はまだ二歳八か月。母親がカネ・油の摂取をやめて六年後に産んだ「黒い赤ちゃん」だった。「今は正常な発育をしている」という国側。内臓障害がひどく、よそ目にはわかりにくいけども「治った」とは思えない。原告側は「被害者本人の訴えを真摯に受けとめて被害の実態の把握を」と要望。(2・10 各紙)

百里基地裁判敗訴
十八年七か月、百四回の口頭弁論を重ねてきた百里裁判の判決はわずか三分間。反対派のリーダーとして陣頭指揮をしてきた元町長の山西きよさん(六八)「基地誘致派にリコールされた」は「判決はいかにもうと真相を知る人こそがくだしうる断り」と心境を歌にして、命ある限り闘い続けると誓をかんた。(2・17 各紙)

医療保険事務管理協会を訴え
「有利な内職」と講習会を開いていた協会を東京の主婦が都消費者センターに訴えたが、あつせんがまともな損害賠償訴訟に持込む。従来なら二、三万円の少額被害は泣き寝入りになっていたが都の「消費者救済条令」により訴訟費用も貸付けられ、西期的な結果となった。(3・3 読売)

暮らし

女子大生専用マンション

横浜、十階建て、大半は二人部屋で食費・管理費とも六万七千二百円。男性は父兄とも立入り禁止。(2・9朝日)

ハリ治療不妊症にも有望
十三人中二人に赤ちゃん。長崎医大三浦助教らの研究で。(2・14読売)

「日本の家庭 世界の家庭」

日本の夫婦はなぜデパートしない。家庭を無視して残業するなど、考えさせられる点が多い本が出た。高橋 歌著。(2・21読売)

バストは女性の武器か？

女性下着メーカー主催のシンポジウムが十八日東京会館で。「大小を論じる根本には男性支配の社会がある。大きさを決めるのは自分でいい」——野坂昭如氏はかの意見。(2・21朝日)

育児二か月でノイローゼ最高
「赤ちゃん——〇番」に相談する人は二か月が一番多い。重なる疲労、心の不安。夫の理解と手助けこそ必要。(2・22読売)

ジン臓移植ママ出産
日本では初めて。京都で。(2・22読売)

塾一〇〇番鳴りっ放し
東京と千葉でオープンしたら問合わせが殺到。開設の「学習塾の姿勢を正し子供を守る会」もびびり。(2・23読売)

若松駿子没後八十年記念展
「小公子」などの初版本のほか明治女学校の寄宿舎規則など明治期の女子教育資料も。東京ミズ画廊で。(2・25読売)

テレビ界、主婦層に巻き返し
女性べつ視とリブにかられたりして、各局ともこころ、二年生メロと決別の姿勢だったが「女の性(さが) 路線」再び流行の支配。テレビドラマは時代を映す鏡とか。(2・26朝日)

婦人誌「戦国時代」へ
ベビーブームの世代が読者年齢になり急旋風。家事を夫と共有し生活を楽しむ「ニューファミリー族」を対象に「あるる」。「クローゼット」More三誌が誕生する。(2・28朝日)

高校生美容講習に波紋
資生堂は四十八万人、カネボウは女高生四十万、男高生十万人対象に実施中。日本消費者連盟のアンケートに「中止させたい」と答えたのは京都・福井の二府県教委のみ。文部省は「学校が判断すること」と例によって見守る構え。(3・2朝日)

企業グループが結婚相談所
日産自動車・日立・丸紅・富士銀行など四十一社が会員になって結婚相談の「美奈ファミリークラブ」を設立した。登録料一万円。三菱グループ、三和グループですでに好評。企業離れが進む中の皮肉な現象。(3・2朝日)

「ボランティア保険」四月から
活動中のボランティアのケガや第三者に与えた損害を保障する「ボランティア保険」が四月から試験的に実施される。年二百円の掛け捨てで最高百万円支払う。(3・3朝日)

給食費六年間でほぼ倍増
給食費の保護者負担は低学年で月二百七十七円。安全性が問題のポリプロピレン調食器は小学校で三六、中学で四〇%

も使われている。都教委の昨年五月の調査で。(3・3朝日)

四月十日を婦人の日に
自民党は「ひな祭り」を「婦人の日」にする構想について協議したが婦人対策特別委員は婦人の日制定は望ましいが婦人参政権を初めて行使した四月十日がふさわしいと提案。さらに検討することになった。(3・4朝日)

「婦人の日」制定の動きに疑問
平等とは名ばかり、いまだに男子本位の世の中なのに制定の意図は何か。参院選へのアテとしか思われない。(3・5朝日)

放出野菜ほんとはあるのか
都が生鮮食品の価格安定のため放出している野菜が店頭に見当たらない。港区の婦人調査員の自主追跡で。(3・6読売)

商品危害に食いつく
国民生活センター調査後青山ミチ子さん(四五)。産金庁、生産性本部、消費者協会と転戦を重ね、「そのたびに主婦業に逃げこもうかと思った」が、今は「危害情報」のシステムづくりに専念。(2・8読売)

百六歳で大往生
宮崎県の最高齢者夏田ナヲさんが八日老衰で。全国百歳の会副会長、メカネをかけず縫いのをしていた。(2・10毎日)

私は大学で勉強
長野県主婦・酒井おさるさん(四三)は昨年十月から信大教育学部の聴講生。農家の嫁として無我夢中で働くうち、生活

改善グループ作りに。さらに自分の人生を納得のいくものに勉強を熱望、やっと思議生になれたが、無気力な学生や高い授業料に不満。(2・12毎日)

老後問題は婦人問題
奴隷のような農村婦人の姿を見て自立を決意。教員生活三十三年の瀬尾逸子さん(六八)は「私の生きた育った環境では育児だけを仕事にしている女性は見ることがなかった。老後問題研究会など四つの会員。(2・14読売)

今年から長編を執筆
十四日に第二十八回読売文学賞を受賞した河野多恵子さん、今度は三十五年の長編に取り組む。水路で長旅に出る心境。(2・18毎日)

食用廃油を粉石けんに交換
使い捨ての食用油を回収して油脂会社に渡し、粉石けんと交換するユニークな消費者運動「和甲グループ」のリーダー石原貞子さん(四一)。(2・19毎日)

七十歳の自費出版夢みて
佐藤愛子さん(五二)。貯金をはたいて「昭和の点景」を自費出版。次は七十歳ごろに。(2・21読売)

沢崎梅子さん九十歳で死去
二十一日、老衰のため。料理研究家。(2・22毎日)

中山千夏「女」についての本
一か月サイクルで作家やタレント選の本百冊を展示即売する某書店で、中山さんは体・解放・歴史などに分類した女の本を披露した。女性問題に関心を持ったのは結婚してからとい

う。(2・23朝日)

本とお金を十二年、一万冊
清水カノさん(六三)。上の学

校へ行き、本もたくさん読んだ。校へ行ったが果たせなかった。その思いを故郷北海道の子らに託し続けて。(2・24朝日)

全盲の身で盲人ガイド手帳を
視覚障害者に関する情報を網羅して作成した長野留美子さん(二四)。盛岡在住。(2・26読売)

無形文化財「明伝承者死去」
伊平タケさん(九二)。急性心臓炎のため。二十四日午後。(2・26各紙)

第四回テアトロ演劇賞
奈良岡朋子さん——劇団民芸女優——に決定。民芸公演「奇蹟の人」七人みさき、芸術座公演「忍ぶ川」の演技成果で。(2・28朝日)

佐藤雅子さん死去
二十八日、肝しゅうようのため。料理研究家。(3・1朝日)

基地と若者を児童文学に
岩瀬成子さん(二六)が「朝はだんだん見えてくる」を出版。新鮮な世代感覚が生きてる。(3・4朝日)

第十七回田村俊子賞
木々康子氏「蒼龍の糸譜」と武田百合子氏「富士日記」に決定。授賞は四月。(3・5朝日)

東京大空襲の画展
銀座「はばたき」画廊の田中那須子さん(五一)が計画。(3・5読売)

「今日の問題」
商店婦人の悩まず共存び？中小、まして零細企業の女の労働条件向上は夢で、店員も統かない。漁・農協婦人部の団結は強いが、同業者と競争の自営商店界の女の地位は昔と変わらず心がいいたむ。(投書・2・19朝日)

女子大開放で男子教員作れ

「声・相談」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「今日の問題」

「保父さん」も話題になる最近、小学校・幼稚園にも男子職員が半数程度いてよいと思ふが問題は免許状取得にある。国立大教員養成課程と一部私大を除くと幼・小教員養成課程は女子大・女子短大以外は有していない。その養成課程を男子にも開放せよと訴えた。

事件と刑

（投書・2・20朝日）
子連れの傍聴拒否の審議会
保育料の値上げ案の審議を聴こうと子供を背に市議会に出かけたが門前払い。働く婦人への差別か。革新自治体にしてこの暴挙？（投書・2・24朝日）
テレビに見る男女差別
テレビのクイズで「結婚のとき作る着物の紋」は「夫の紋」が正解。ドラマはもっと心痛む場面が多い。影響力の大きいテレビこそ前向きな姿勢がほしい。（投書・2・26朝日）
保父さん歓迎します
私の勤める保育所に男子大學生が卒論のため毎週通い人気を集めた。特に年長男児や母子家庭の子に。若い男性が他の職場と同様幼児保育を仕事に選んでほしい。（投書・2・28朝日）
毎朝亭主が朝食作り
低血圧で起きぬ妻。娘への影響が心配だ。（答・小糸のぶ）娘さんよりあなたや奥さんによくないのでは。病気ではない本應性の低血圧もある。正しい治療を。

（3・4読売）
会社と結婚した夫
私生活もない、お飾りはイヤ。（答・（レン・ポツル）自分でもう答を出しているではありませんか。とつきの昔に会社と結婚している男を失ったから

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

（3・2朝日）
成績に病み妻を刺殺
販売成績が悪くノイローゼの夫（三四）が妻（二八）を、横濱から母子三人飛び降り、十階から母子三人飛び降り、東京・小松川の都営団地で、夫が新聞販売店で早起きなのを苦にして。（3・4朝日）
幼い姉弟を捨てた父
父が自首。サラリーマンローンが焦げつけ放浪中の一家。母は、「客待ち」で捕えられていた。妻を殴り殺す
酒好きでケンカ絶えぬ夫（四五）が妻（四一）を、横浜で。（3・7読売）

（3・13朝日）
女性差別に六億円補償
米国NBC放送は同社の女性職員を「男女職員の比率・職種・昇進の度合で差別する」と理由で総額約六億円（一人平均二百四十万円）を二千八百人の女性職員に支払うことに同意。今後女性の採用、幹部登用を増やすと約束した。連邦機会均等委に提訴した結果だが、米国ではこの種の訴えは珍しい。アメリカの女性詩人たちは、大学に、各地の朗読会に、社会的影響力は大きい。彼女たちはに共通なのは「いざとなると強いはなく、生き方を女の目で見直すこと、歴史的多見通しに立つ。批判意識と女自身の世界観から生まれる「文化的な強さ」だ。（渥美育子・2・15朝日）
同性愛一初めて政府が支援
英国同性愛組織「フレンド」は国内に十一支部をもち五年前から同性愛者地位向上の運動をして地方自治体の援助を受けているが、このたび年間経費の四分の三を内務省、残りを区の負担でロンドン事務所がオーブ・ホワイトハウスでゲイが会談
大統領補佐官コンスタンザ女史が米国の同性愛組織の代表を「ホワイトハウスに招いて一連の会談。外国の訪米同性愛主義者にも市民権を、軍隊が同性愛の軍人を追放しない、同性愛主義者にも税法上の特権を認めることなどについて話し合いの用意」と表明。（2・16朝日）
米・新時代にとまどう男性
リブの時代に育つ女性と共に生きる男性の研究結果が、男らしさの「ジレンマ」といふ本になって出版された。進歩的の自負するコロンビア大生中にも知性と情緒のズレや、かなりの混迷がみられる。半面「男っぽい」女性を苦なく受け入れるところもある。（2・17朝日）
独身美人の州最高裁長官
カリフォルニア州のローズ・エリザベス・バードさん（四〇）。「プラウン知事の最も意義ある決断」と賛成派。反対派は「判事歴がない。女性であることは問題ないが」と追求。（2・20読売）
格式ばらない米国会
議場で赤い坊にミルクをやる議員（前号）にみるように、「子連れ」議員は珍らしくない。鬼ごっこをはじめる子供たちも。日本の国会は格式ばると見学した米議員。（2・27朝日）
米国でジョブ・シェアリング
一つ仕事を二人で分け合い、収入も折半という新しい就業パターンが母親や学生に好評。問題は一つ仕事に二人のトレーニングが必要なことだが、これを奨励する州もあり、連邦政府の動きによっては普及の可能性十分とタイム誌。（2・28朝日）
産み分け自由の薬の人体実験
イギリスのポラード医師が開発、ウサギの実験では成功率八〇％。百人の女性有志をつくり人体実験する。（3・1朝日）
結婚式は職場の会議室で
中国で金のない人が結婚できない不平等をなくしようと。ただ人口九億近く、「遅い恋愛遅い結婚」。（3・2朝日）

（2・9毎日）
幼い命たらい回し
捨て子を預けるという主婦からの一〇番が実は知人から預かった幼児をもてあましての狂言。（2・13毎日）
女店員男を殺してガス自殺
三鷹市のアパートで女店員（三九）がガス自殺、そばに愛人（四七）が首を絞められて死んでいた。（2・14毎日）
男女が子連れ心中
十五日、神奈川県山梨で三十歳前後の男女と幼女の死体が見つかる。互いに配偶者があった。（2・15毎日）
渋谷の旅館で母子変死
渋谷区内の旅館で四十歳すぎの女性と五歳ぐらいの男の子が死んでいた。中年の男と三人で宿泊したが、男は明け方、山の手線渋谷駅で飛び込み自殺。

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

（3・2朝日）
成績に病み妻を刺殺
販売成績が悪くノイローゼの夫（三四）が妻（二八）を、横濱から母子三人飛び降り、十階から母子三人飛び降り、東京・小松川の都営団地で、夫が新聞販売店で早起きなのを苦にして。（3・4朝日）
幼い姉弟を捨てた父
父が自首。サラリーマンローンが焦げつけ放浪中の一家。母は、「客待ち」で捕えられていた。妻を殴り殺す
酒好きでケンカ絶えぬ夫（四五）が妻（四一）を、横浜で。（3・7読売）

（3・13朝日）
女性差別に六億円補償
米国NBC放送は同社の女性職員を「男女職員の比率・職種・昇進の度合で差別する」と理由で総額約六億円（一人平均二百四十万円）を二千八百人の女性職員に支払うことに同意。今後女性の採用、幹部登用を増やすと約束した。連邦機会均等委に提訴した結果だが、米国ではこの種の訴えは珍しい。アメリカの女性詩人たちは、大学に、各地の朗読会に、社会的影響力は大きい。彼女たちはに共通なのは「いざとなると強いはなく、生き方を女の目で見直すこと、歴史的多見通しに立つ。批判意識と女自身の世界観から生まれる「文化的な強さ」だ。（渥美育子・2・15朝日）
同性愛一初めて政府が支援
英国同性愛組織「フレンド」は国内に十一支部をもち五年前から同性愛者地位向上の運動をして地方自治体の援助を受けているが、このたび年間経費の四分の三を内務省、残りを区の負担でロンドン事務所がオーブ・ホワイトハウスでゲイが会談
大統領補佐官コンスタンザ女史が米国の同性愛組織の代表を「ホワイトハウスに招いて一連の会談。外国の訪米同性愛主義者にも市民権を、軍隊が同性愛の軍人を追放しない、同性愛主義者にも税法上の特権を認めることなどについて話し合いの用意」と表明。（2・16朝日）
米・新時代にとまどう男性
リブの時代に育つ女性と共に生きる男性の研究結果が、男らしさの「ジレンマ」といふ本になって出版された。進歩的の自負するコロンビア大生中にも知性と情緒のズレや、かなりの混迷がみられる。半面「男っぽい」女性を苦なく受け入れるところもある。（2・17朝日）
独身美人の州最高裁長官
カリフォルニア州のローズ・エリザベス・バードさん（四〇）。「プラウン知事の最も意義ある決断」と賛成派。反対派は「判事歴がない。女性であることは問題ないが」と追求。（2・20読売）
格式ばらない米国会
議場で赤い坊にミルクをやる議員（前号）にみるように、「子連れ」議員は珍らしくない。鬼ごっこをはじめる子供たちも。日本の国会は格式ばると見学した米議員。（2・27朝日）
米国でジョブ・シェアリング
一つ仕事を二人で分け合い、収入も折半という新しい就業パターンが母親や学生に好評。問題は一つ仕事に二人のトレーニングが必要なことだが、これを奨励する州もあり、連邦政府の動きによっては普及の可能性十分とタイム誌。（2・28朝日）
産み分け自由の薬の人体実験
イギリスのポラード医師が開発、ウサギの実験では成功率八〇％。百人の女性有志をつくり人体実験する。（3・1朝日）
結婚式は職場の会議室で
中国で金のない人が結婚できない不平等をなくしようと。ただ人口九億近く、「遅い恋愛遅い結婚」。（3・2朝日）

（2・9毎日）
幼い命たらい回し
捨て子を預けるという主婦からの一〇番が実は知人から預かった幼児をもてあましての狂言。（2・13毎日）
女店員男を殺してガス自殺
三鷹市のアパートで女店員（三九）がガス自殺、そばに愛人（四七）が首を絞められて死んでいた。（2・14毎日）
男女が子連れ心中
十五日、神奈川県山梨で三十歳前後の男女と幼女の死体が見つかる。互いに配偶者があった。（2・15毎日）
渋谷の旅館で母子変死
渋谷区内の旅館で四十歳すぎの女性と五歳ぐらいの男の子が死んでいた。中年の男と三人で宿泊したが、男は明け方、山の手線渋谷駅で飛び込み自殺。

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

（3・2朝日）
成績に病み妻を刺殺
販売成績が悪くノイローゼの夫（三四）が妻（二八）を、横濱から母子三人飛び降り、十階から母子三人飛び降り、東京・小松川の都営団地で、夫が新聞販売店で早起きなのを苦にして。（3・4朝日）
幼い姉弟を捨てた父
父が自首。サラリーマンローンが焦げつけ放浪中の一家。母は、「客待ち」で捕えられていた。妻を殴り殺す
酒好きでケンカ絶えぬ夫（四五）が妻（四一）を、横浜で。（3・7読売）

海の外では

（3・2朝日）
成績に病み妻を刺殺
販売成績が悪くノイローゼの夫（三四）が妻（二八）を、横濱から母子三人飛び降り、十階から母子三人飛び降り、東京・小松川の都営団地で、夫が新聞販売店で早起きなのを苦にして。（3・4朝日）
幼い姉弟を捨てた父
父が自首。サラリーマンローンが焦げつけ放浪中の一家。母は、「客待ち」で捕えられていた。妻を殴り殺す
酒好きでケンカ絶えぬ夫（四五）が妻（四一）を、横浜で。（3・7読売）

（3・13朝日）
女性差別に六億円補償
米国NBC放送は同社の女性職員を「男女職員の比率・職種・昇進の度合で差別する」と理由で総額約六億円（一人平均二百四十万円）を二千八百人の女性職員に支払うことに同意。今後女性の採用、幹部登用を増やすと約束した。連邦機会均等委に提訴した結果だが、米国ではこの種の訴えは珍しい。アメリカの女性詩人たちは、大学に、各地の朗読会に、社会的影響力は大きい。彼女たちはに共通なのは「いざとなると強いはなく、生き方を女の目で見直すこと、歴史的多見通しに立つ。批判意識と女自身の世界観から生まれる「文化的な強さ」だ。（渥美育子・2・15朝日）
同性愛一初めて政府が支援
英国同性愛組織「フレンド」は国内に十一支部をもち五年前から同性愛者地位向上の運動をして地方自治体の援助を受けているが、このたび年間経費の四分の三を内務省、残りを区の負担でロンドン事務所がオーブ・ホワイトハウスでゲイが会談
大統領補佐官コンスタンザ女史が米国の同性愛組織の代表を「ホワイトハウスに招いて一連の会談。外国の訪米同性愛主義者にも市民権を、軍隊が同性愛の軍人を追放しない、同性愛主義者にも税法上の特権を認めることなどについて話し合いの用意」と表明。（2・16朝日）
米・新時代にとまどう男性
リブの時代に育つ女性と共に生きる男性の研究結果が、男らしさの「ジレンマ」といふ本になって出版された。進歩的の自負するコロンビア大生中にも知性と情緒のズレや、かなりの混迷がみられる。半面「男っぽい」女性を苦なく受け入れるところもある。（2・17朝日）
独身美人の州最高裁長官
カリフォルニア州のローズ・エリザベス・バードさん（四〇）。「プラウン知事の最も意義ある決断」と賛成派。反対派は「判事歴がない。女性であることは問題ないが」と追求。（2・20読売）
格式ばらない米国会
議場で赤い坊にミルクをやる議員（前号）にみるように、「子連れ」議員は珍らしくない。鬼ごっこをはじめる子供たちも。日本の国会は格式ばると見学した米議員。（2・27朝日）
米国でジョブ・シェアリング
一つ仕事を二人で分け合い、収入も折半という新しい就業パターンが母親や学生に好評。問題は一つ仕事に二人のトレーニングが必要なことだが、これを奨励する州もあり、連邦政府の動きによっては普及の可能性十分とタイム誌。（2・28朝日）
産み分け自由の薬の人体実験
イギリスのポラード医師が開発、ウサギの実験では成功率八〇％。百人の女性有志をつくり人体実験する。（3・1朝日）
結婚式は職場の会議室で
中国で金のない人が結婚できない不平等をなくしようと。ただ人口九億近く、「遅い恋愛遅い結婚」。（3・2朝日）

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

（2・15毎日）
母子心中はかり、二児死ぬ
夫の病弱な両親の面倒をみるの夫がきき入れず悩んだ妻が子を道連れに。（2・17朝日）
借財を残し家出の夫に悩んで
石廊崎で娘（三三）を絞殺した放心状態の母親（五四）を逮捕。（2・18朝日）
新婚旅行の宿で出産して殺す
ハネムーン中の花嫁が投宿先で夫とは別の男性の子を出産。始末に困って殺し、死体を自宅に隠していたのが発覚。（2・19毎日）
十八歳娘、孤独の凍死
二十四日、世田谷区内のアパートでSさん（十八）が死んでいるのが発見された。美容院の勤めをやめ、イラストの勉強をしてほとんど外出も近所付合ひもなかった。（2・25毎日）
無理心中か 母子五人焼死
二十六日未明、山梨県八田村で発生した火災で焼跡から母子五人の焼死体が見つかった。夫の女性関係保を苦にしての心中の疑い。（2・26毎日）
雪中約一米にえい児死体
志賀高原駐車場で。（2・28朝日）
探石現場で土砂崩れで死亡した
老人や女性が採石や土木の現場に働く過疎地帯、京都網野町で五十九・六十三才の女性作業員三名が。（2・28朝日）
うなされて長女殺しも自供
長男殺しも逮捕された母（二二）が夢でうなされて八か月前の長女殺しも自供した。給料も入れず女に狂う夫への面当てで長女を殺したのが病死とされ香典が集まったに味をしめ、長男殺しに発展したと告白。

〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
3月18日(金)	18:00~21:00	CRLつつ生きること 〈あごろCRL同期会〉		あごろ読書室	03-354-9014
19日(土)	13:30~	三里塚を共に闘うー創立31周年の日に三里塚のお母さんと語る 〈婦人民主クラブ〉		婦民ホール	03-402-3244
20日(日)	9:00~	「自分たちの健康は自分たちで守る」交流集会 〈実行委員会〉 会費500円		東京医科歯科大	03-385-2293
21日(月)	19:00~	月曜講座・旅立ちーおまえさのり 〈西萩フリースクール〉		ホビット村3F	03-332-1187
22日(火)	20:00~	なぜ子どもを産むのか 〈珠裸衣〉		ホビット村3F	
23日(水)	18:00~20:00	働く女性の相談室 〈行動を起こす女たちの会・労働分科会新設の無料相談室〉 かならず電話で予約を。		中島法律事務所	03-352-7010
25日(金)	11:00~14:00	花の下で「女」について語り合おう 〈あごろ東京〉		新宿御苑台湾閣	
	18:00~	婦人講座「国内行動計画」の背景と問題点 講師ー田中美智子 〈婦団連〉		新宿農協会館	
	18:30~20:30	保育問題勉強会——資料持ち寄りディスカッション 〈あごろ北海道〉		札幌クリスチャンセンター	011-731-3388
	18:30~21:30	国内行動計画の検討 〈行動を起こす女たちの会・教育分科会〉		中島法律事務所	
26日(土)	13:30~16:30	労働における男女平等を実現するためにー報告者・柴山恵美子、内田登喜子 〈婦人問題懇話会〉 参加費200円		渋谷区民会館3F会議室	03-370-7741
	14:00~	私にとつての結婚 〈あごろ九州〉		福田宅	092-751-5002
	18:30~	女のうたー中山千夏 〈ホーキ星〉 予約制。		ホーキ星	03-341-9364
27日(日)	19:30~	中野ハリの会 講師・山田真 会費100円		「交流」事務所	03-385-2293
29日(火)	18:00~21:00	「大正デモクラシーと女性」について 報告ー山田敬子 〈婦問懇・女性史分科会〉		文化服装学院3F応接室	03-370-4487
30日(水)	13:30~16:00	混乱する幼児教育——私たちは今どうしたらいいのか 母親の立場から助言者ー矢野としお 〈あんふあんて〉 参加費500円 託児料100円		千駄ヶ谷区民会館	03-402-7854
4月3日(日)	18:30~	魔女コンサートをつくろう 〈ホーキ星〉		(申し込みは03-269-8302、50名限り)	
3日(日)	14:00~17:00	行動を起こす女たちの会・離婚分科会		ホーキ星	
5日(火)	18:30~21:00	東洋医学的な身体のとらえ方 講師ー山内雅之 〈からだのひろば〉		あごろ読書室	
	19:00~	女のからだティーチーイン 〈リブ新宿センター〉 毎火曜日		千駄ヶ谷区民会館	
6日(水)	13:30~16:00	「現代子育て考Ⅲ」第1回編集会議 〈交流編集会議〉		リブ新宿センター	03-370-6007
	19:00~	W・ライヒ読書会 毎水曜日		中野文化センター第5会議室	03-383-1631
	19:00~	ブージン(アジアの女のことを考える会) 〈リブ新宿センター〉		ホーキ星	
8日(金)	19:00~	マスコミの性差別をチェックする 〈リブ新宿センター〉 毎金曜日		リブ新宿センター	
12日(火)	18:30~21:00	「劇へー出会いと出発」 〈からだのひろば〉 問い合わせ 03-401-0977		千駄ヶ谷区民会館	
16日(水)	18:30~17:00	国内行動計画について各党に聞く 〈行動を起こす女たちの会・定例会〉		千駄ヶ谷区民会館	
20日(水)	18:30~	〈女大学〉アジアと女性解放 〈アジアの女たちの会〉		渋谷勤労福祉会館	03-508-7070
22日(金)	18:30~20:30	既刊「あごろミニ」合評会 〈あごろ北海道〉		札幌クリスチャンセンター	
25日(月)	18:30~	既刊「あごろミニ」合評会 〈あごろ東京〉		あごろ読書室	
26日(火)	13:30~15:30	結婚についてみつめ直す 〈あごろ東海〉		名古屋勤労婦人センター	

・(この欄に掲載ご希望の方はハガキでお申し込み下さい。掲載無料——〒160 東京都新宿区新宿1-9-6 〈あごろミニ〉編集部)

—各地の〈あごろ〉例会案内—

□ あごろ北海道

・保育問題勉強会

資料を持ち寄って話し合います。
・3月25日(金) 午後6時30分~8時
・札幌クリスチャンセンター

▽問い合わせ ☎01262246772 山口里子

□ あごろ東京

・新宿御苑の花を見ながら「女」について語り合おう
いなせな保父が二人待機しています。子連れでどうぞ。
今まで出られなかった方、ぜひ!

・3月25日(金) 11時~2時
・新宿御苑 台湾閣

▽問い合わせ ☎0333549014 あごろ事務局

□ あごろ東海

・結婚についてみつめ直す

これまでの天野さん、沢田さんの講演を基に、自分たちの結婚観について語り合います。
・4月26日(火) 午後1時30分より
・名古屋勤労婦人センター

▽問い合わせ ☎0526220839 高橋ますみ

□ あごろ九州

・私にとつての結婚

・新入り、飛入りも大歓迎!!
・3月26日(土) 午後2時より
・福岡市中央区大濠2の1の1 パールシャトゥ

▽問い合わせ ☎09275155002 小島豊子

〔編集後記〕

賛否両論、ヘミニンにお寄せ下さって、
ありがとうございます。「いい」といわれて喜び、「ダメ」といわれて深刻になったり試行錯誤の日々です。
「ダメ」も、「いい」も、両方私たちの支えになります。
へあごろ16号・特集「女と結婚」(四月二十五日発行予定)も、いい原稿が集まり、編集に入りました。ヘミニンとあわせてご愛読を。また、レイアウト・校正など手伝って下さる方は、ぜひご連絡を。ネコの手も借りたい忙しさですので。なお、ヘミニン4号は、本誌16号と発行が重なるため、八ページに減ページします。